

## 国土管理専門委員会

## 「2018年とりまとめ」骨子案

「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」

～複合的な効果を発揮する施策の推進、地域に適した国土利用の選択～

### 1. はじめに（本とりまとめのねらい）

### 2. これからの国土の利用・管理に向けて

#### （1）自分たちの暮らす地域について考えてみる

～これからの土地の使い方、管理の仕方（国土の利用・管理）を改めて考える理由～

#### （2）複合的な効果をもたらす施策

～できるだけ複合的な効果を発揮する土地の使い方を考える～

#### （3）選択的な国土利用

～地域自らによる地域に適した土地の使い方を選択する～

#### （4）実現に向けた具体的アクションの実施

### 3. 推進にあたっての主な課題と解決の方向性

#### 3. 1. 課題の整理～「人（主体）」「土地」「仕組み（資金）」の観点から～

##### （1）地域の取組から浮かび上がる課題の類型

##### （2）各地域の経験を踏まえた課題の分類・整理

#### 3. 2. 「人（主体）」の観点からの課題の類型ごとの解決の方向性

##### （1）人（主体）の確保と維持

- ・ 継続的に関与できる内外の人材の確保
- ・ 参画する多様な主体の動機付けとモチベーションの維持
- ・ 活動の世代交代やコミュニティの維持に向けた次世代人材の確保
- ・ 鳥獣被害対策等、専門知識を有する人材の確保

##### （2）主体間の役割分担（自助、共助、公助）と意識の共有

- ・ 自助（所有者）・共助（地域外住民も含めた多様な主体）・公助を組み合わせた多様な主体の参画の推進と役割分担の明確化
- ・ 多様な主体間の現状認識や取組に対する意識のすりあわせ
- ・ 役割分担を調整し、合意形成を図る主体・人材の確保

#### 3. 3. 「土地」の視点からの課題の類型ごとの解決の方向性

##### （1）土地の現状の把握・共有

- ・ 土地所有者・境界の把握
- ・ ICT等の最新技術を活用した実態把握と「見える化」
- ・ 活用可能な（活用すべき）自然環境や地域資源の把握

### (2) 土地の役割に着目した詳細なゾーニング

- ・ 土地利用の具体的な方向性の選択
- ・ 地区レベルの土地の使い方の選択（ゾーニング）

### (3) 複合的な効果を発揮する等の土地の新たな用途の検討

- ・ 防災減災・国土強靱化、環境、地域活性化などの複合的な効果をもたらす土地利用の検討
- ・ 低・未利用地の新たな活用方法の検討
- ・ 豪雨災害等の災害リスクを考慮した地域の強靱化に資する土地利用の検討
- ・ 生物多様性の維持、生態系の保全に資する土地利用の検討

### (4) 土地所有者との調整・合意

- ・ 土地所有者との合意形成
- ・ 地域住民と土地所有者の間の利害調整

## **3. 4. 「仕組み（資金）」の視点からの課題の類型ごとの解決の方向性**

### (1) 国土管理活動の収益化による国土の国民的経営の推進

- ・ マルチワーク等多様な手段による国土管理活動の収益化
- ・ 地域外の住民を巻き込んだ活動の広域化・シェアリングエコノミーの考え方の導入などによる国土の国民的経営の推進
- ・ 国土管理コストの縮減

### (2) 公的ポテンシャルの有効活用

- ・ 持続可能性を高める交付金等の有効活用
- ・ 国・県などの行政機関職員及び退職者の知恵の活用

## **3. 5. 合意形成と計画の共有**

- ・ 関係者が共通の方向を向いて取り組むための計画や方針の共有
- ・ 国土利用計画をはじめとする法定計画の有効活用

## **4. 残された課題と今後の検討の方向性**

### (1) 適切な管理を続けることが困難な土地について

### (2) その他の課題

### (3) 今後の検討の方向性